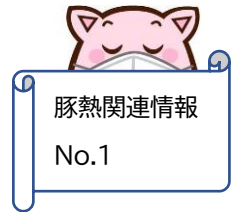


豚熱ワクチンを過信せず、 飼養衛生管理の徹底を！



豚熱は、2018年9月、岐阜県の養豚場で、我が国で26年ぶりに発生し、これまでに（2021年5月現在）68例が確認されています。

豚熱感染防止対策として、2019年9月から、野生イノシシを介した豚熱ウイルスの拡散防止と養豚場への豚熱ウイルスの感染リスクを低減するため、野生イノシシへの経口ワクチン散布が18県で開始されました。

（茨城県は、今年度5月下旬から、栃木県境の太子町、常陸大宮市、城里町、笠間市、桜川市、石岡市、常陸太田市の7市町、渡良瀬遊水地から利根川沿い河川敷の古河市、五霞町、境町、坂東市、守谷市、取手市の6市町で実施しています。）

2019年10月からは、豚熱ワクチン接種推進地域に指定された29都府県で豚熱ワクチン接種が始まりました。

豚飼養者の皆様は、ひとまず一安心されたと思います。

（茨城県では、2020年2月17日から豚熱ワクチンの全頭接種を開始、5月12日に県内367農場、約31万頭の接種が終了しました。また、3月17日からは、新たに出生した豚の接種が開始されています。）

しかし、2019年11月、群馬県の豚熱ワクチン接種農場で発生が確認され、これまでにワクチン接種農場での発生は11例です。豚熱ワクチンは、豚熱の予防に有効です。なのに、「なぜ！ワクチン接種農場で発生？」という思いを多くの方が持たれたと思います。

豚熱ワクチンは、接種していても必ずしも全ての豚が免疫を獲得できるわけで

はありません。また、必ずしも全ての子豚に適切な時期に接種できるわけでもありません。異常豚を確認しても、「ワクチンを接種しているから大丈夫」、獣医師、家畜保健衛生所に通報が遅れることも問題です。

農林水産省は、「ワクチンを過信せず、飼養衛生管理の徹底を」と呼びかけています。

豚熱対策は、飼養衛生管理基準の遵守がベースにあって、野生イノシシへの経口ワクチンの散布、豚熱ワクチンの接種が行われています。

【関連サイト】

農林水産省

- ◆ [豚熱（CSF）について：農林水産省（maff.go.jp）](http://maff.go.jp)
[国内における豚熱の発生状況について：農林水産省（maff.go.jp）](http://maff.go.jp)
疫学調査の概要、野生イノシシの発見地点、野生イノシシ対策について
[海外における発生状況について：農林水産省（maff.go.jp）](http://maff.go.jp)
[畜産農家の方へ畜産農家の方へ：農林水産省（maff.go.jp）](http://maff.go.jp)
CSF 対策（動画）

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

- ◆ [CSF\(豚熱\)Q&A | 農研機構（naro.go.jp）](http://naro.go.jp)
- ◆ [CSF 解説動衛研：家畜の監視伝染病 家畜伝染病－20 CSF（豚熱）（classical swine fever）（affrc.go.jp）](http://affrc.go.jp)

茨城県農林水産部畜産課

- ◆ [CSF（豚熱）について／茨城県（pref.ibaraki.jp）](http://pref.ibaraki.jp)
茨城県での野生イノシシの CSF 発生状況
養豚農家のみなさまへ

環境省

- ◆ [野生イノシシにおける CSF の確認に伴う環境省の対応について || 野生鳥獣の保護及び管理\[環境省\]（env.go.jp）](http://env.go.jp)